

# なるなる面会通信

Vol. 1. 2017.11.8  
創刊号特別仕様

## ご挨拶と創刊の経緯


いつも一般社団法人アイエムの面会サポートをご利用の皆様、ご利用ありがとうございます。決まのご協力とご理解を、いつも本当にありがとうございます。この度、法人内で初の“契約解除事業”が発注し、残念なことに面会サポートの提供をストップせざるを得ない状況となっております。お客様がおります。具体的なことについては申し上げられませんが、当法人のルールに違反をしてはも関わらず、我々の話に身を傾けず、乱暴な対応をされたという経緯がございました。（“サービス停止”の方は、これまで数社ございました）


そこで、「もっと我々の想いをお客様に伝えるのが良いのでは？」と、思い、この度、“なるなる面会通信”を創刊致しました。

偶然か必然か、当法人の保育園の保育理念が“父性・母性調和型保育”です。つまり、父・母や男・女ではなく、父性の要素、母性の要素は同じです。子にとって必要という考えです。


もっと言えば、子どもに上から父性要素（冒険心、秩序、道徳）や母性要素（共感、感謝）を与えるのではなく、“子どもたちの心の中にあるそれらを引き出す”という考えのもと、日々保育をしています。

それはなぜか、... 自身の経験でもあったことですが、“まきにくさ”や“社会性の未発達”により、父性と母性が大いに関連していることを確信しているからです。子どもたちの将来は約束されている訳ではありませんが、自らの人生を自らでセリ開く勇気を持つことだけは目指してあげたいからです。



<sup>普救</sup>  
私たちは中立の立場で意見を持っておりませんが、スタッフ一人ひとり、面会に対する想いは各々熱いものがあります。ひとりのスタッフ、両親離婚の経験のあるスタッフ...。みんな笑顔していることは“子どもの幸せを願っている”ということです。中立という立場から、どちらか一方のことだけをやることはできずにご不便に感じられることもありますが、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。 代表理事 土川イミ 



- ① Kさんへ質問  
Q. いつもどんな気持ちで面会サポートをしていますか？  
A. 親子の時間を邪魔しないようにいつも、アイエムのいいところとサービスを感念してサポート心がけています。
- ② Aさんへ質問  
Q. やりがいは何ですか？  
A. 非監護親と子どもが笑顔になって、お互いの顔がうれしそうに笑うのを見るときに、やりがいを感じます。
- ③ Sさんへ質問  
Q. 面会サポートをしていて大変だと感じることはありますか。あればそれは、それはどんな時ですか？  
A. 大変だと思うことがあります。それは「外出の付き添い時には手に“近すぎず遠すぎない距離感”を保ちながら”支援する事”が大変なことかな」と感じます。
- ④ Mさんへ質問  
Q. 面会中に感動した出来事はありますか。   
A. 親子の再会の時、子どもが満面の笑みで走って飛びついてくる時には、親子の深い絆を感じました！！

## 編集後記

私、(土川イミ)は、かつての父性・母性マニア。決まの経験(自分の幼少時代・平均200人以上の保育経験)から、父性と母性の役割をかなり研究してきました。次号から、決まの情報を載せていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

～よい面会は一日にして成らず。4者(imi、監護親、子、非監護親)の歩みおで、よい面会がうまれ、子の心算が安定は図られる～